

# The Y's men's Club of *Kyoto Prince*

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUB

SANJOU YANAGINO BANBA KADO NAKAGYOU-KU KYOTO JAPAN, GIP 604-8083  
URL <http://www.prince-ys.com>

TEL 075-231-4388

強調月間  
Y, サ/ASF

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANES EVERY RIGHT"



Bulletin  
2009. 4

2009年 4月1日号発行  
第28巻 10号  
通巻280号

会長主題 (CP)

主題  
スローガン

廣井武司  
「友情の輪を拡げよう」  
和 ・ 話 ・ 輪  
WA WA WA

マタイによる福音書 25章41

はっきり言っておく。兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。

国際会長 (IP)

主題

スローガン

アジア会長 (AP)

主題

スローガン

西日本区理事 (RD)

主題

京都部部長

主題

V. S. Bashir (India)

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

“Share with a smile” 「分かち合いは微笑をもって」

Rita. Hettiarachchi (Sri Lanka)

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

“Working Together to Serve Better”

「より良き奉仕のためにともに働こう」

佐藤典子 (熊本ジェーンズ)

「思いやりを持ってワイズライフを！」

“Enjoy Y's life with Consideration!”

—わかち合いは微笑をもって—

—Share with a smile—

藤田寿男 (京都ウイング)

「意識を持って活動に参画しよう！」

—555実現に向けて—



にこにこ

3月第一例会 7,000円  
3月第二例会 0円  
計 61,000円



ファンド  
じゃがいも 320,095円  
すいか 24,200円  
その他 5,128円  
累計 349,423円



BFポイント  
切手 0p  
現金 37,800p  
累計 37,800p



3月第一例会 16名  
3月第二例会 11名  
メーキャップ 0名  
在籍者数 23名  
出席率 83%

We are family We are family We are family We are family



今年もまた引越しの季節がやってきた。休日ともなれば自宅の周囲のマンションに引越すための車の列ができる。おおくは学生の入居のためで、引越しと言っても今では業者の人たちにまとめて頼む人が多いようだ。そんな中で、最近は何となく少なくなってきたが、懐かしい場面に出くわすことがある。男子学生に時折見かける光景だが、レンタカーかどこかで調達してきたであろう軽トラックに家財道具を満載（実際には大した量ではないが積み方がお粗末で）に、友人であろう人を荷台に座らせて走ってゆく姿がある。今ではこの行為は道交法違反で痛いペナルティーがついてくるであろうが、友人の力を借りて一緒に引越しをしているその風景にはなにか心なごむものがある。

「晩飯とビールがその代償か？などと勝手な想像をめぐらしてみるのが間違いなく、そこには彼らなりの友情と、う絆が存在していることが会話の中から察せられる。「こんな汚いものを捨てろや」「あかん、大事なもんや」など、いい顔で笑っているが、彼らの会話に聞いているこちらも思わず笑顔になった。

## 「どうせ」という口ぐせを 「もしかしたら」に変えてみよう 「蒔かざれば花咲かず、実みのらず」

専門の業者に任せれば簡単で楽なことでは当然だが、学生時代の引越すはこの姿が一番いいと思ってしまった。近いところへの移動と察せられるが、その道中の安全を願った。

その近くでは大学を卒業してマンションを退去する女子学生（少々派手め）とその両親の引越すに出くわした。他府県ナンバーの父親の運転で来たであろうワンボックスカーの中に、テレビや冷蔵庫、洗濯機、布団などがぎっしりと詰められている。その僅かばかりの隙間を両親が小間物で埋めてゆく。彼女は車の傍でひたすら携帯でメールでもしているのか、指先が忙しく動いている。母親がバケツに雑巾を持ってマンションの中へ入ってゆく。娘の過ごした部屋の掃除に向かったと察せられるが、当の本人はまだメールの中にいる。父親も母親も彼女に「メールは止めて、手伝え」という事もなく黙々と時は流れている。少々複雑な世相を覗いた光景である。

すべてが便利な世の中になった反面、何か違ってきている。このまま進むとこの世の中は、未来はどうなっているのか一人ひとりを痛めている。そして、こういうことで心配することを年老いてきている証と他人は笑う。私のようなアナログから脱却できない人間にはこの世の中もワイズの世界も本当に住みにくくなって来た。「エッ？パソコンあかんの！」と冷たい目線、心を持たない機械に苦戦している姿は相手にされず、ただだだストレスが溜まり、心が晴れない。

次年度の御役目もパソコン出来ないお詫びに体で動くしかないと後悔しきりである。

4月の西日本区強調月間はYMCAサービス・ASF。みんな出番です。プリンスクラブ25周年に向けて、夢委員会を中心にYMCAサービスに汗と知恵を出してみよう。楽でないかも知れないし、とてつもなく、ひどい、ごとも知れない。ひよっとして徒勞の足跡を残すだけに終わるかも知れない。でも、ここでプリンス魂を発揮して、その叡知を結集して、『和・話・輪』のスローガンのもと今期のラストスパイトをかけよう。

「子どもたちの未来のために」今、私たちができること。ラストスパイトの一步が未来へのステップになる。その一步を勇気を持って踏み出そう。

## 3月第一例会

渡邊公生



2月28日に東京サンライズとの交流例会を特別に持ち、それから4日、三月第一例会が開催された。

ゲストスピーカーとして来ていただいたのは元ナターシヤセブンのメンバーの一人、バクダン異、兼松豊氏でした。兼松氏は言う間でもありませんが京都では知る人ぞ知る、有名な方で、YMCAに深くかかわりワイズにもかかわっていただいている方です。

1950年代に生まれた方ならナターシヤセブンと言えども知られていないグルーヴ、それ以降に生まれたメンバーから「有名な人ですか？」、「どんな曲を歌っていたのですか？」と質問が先輩ワイズメンに浴びせられた。

ギターを抱えてのMC、乗りの良い歌にもなかなか乗ってくれない、メンバーに「オジサンだからしょうがない」と兼松氏。それにもめげず大きな声で歌いながら時には笑わせてくれました。

印象的だったのは、インドランチと京都YMCAとの交流を本の一コマでしたが、教えていただくことができました。

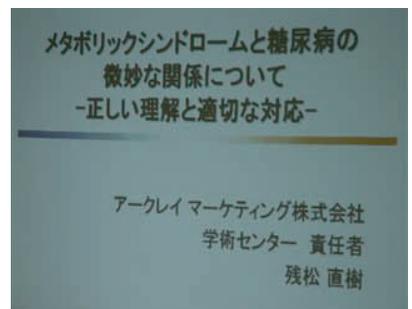
インドでは親がわが子の両足を切ることで、その子が一生涯、物乞いをする事で食べることは事欠かないばかりか、自分たち(親)も子供を通して稼ぐことができると思っている。日本では考えられないことです。このことを見てYMCAはインドランチに数十年間子供たちのために教育を中心に支援しているという事です。京都プリンスが子供たちの未来のために何ができるのか、何をしようとするのか、大きなヒントを与えていただけたような気がします。

講演の最後には、兼松氏持参のスプーンを使ってみんなが演奏会？を持ちました。フオークソング時代に戻ったような例会でした。

兼松さんありがとうございました。岡西交流委員長兼松氏のご紹介お世話になりました。

## 3月第二例会

岡西博司



3月18日(水)今日は、又なんと参加者の少ない例会でしょう。折角のゲストスピーカーには、なんか申し訳ないような気分です。

本日のスピーカーは、後藤純也様と、残松直樹様のお二人です。最初に残松様から「メタボリックシンドロームと糖尿病の微妙な関係」と題して、糖尿病がいかに怖い病気であるか。又、メタボになっていると、いつの間にか糖尿病になり、そこから又いろいろな合併症を引き起こしてゆく。ゆっくり聞いてみると、だんだん怖くなってきました。

そんな中、阪神タイガースの岩田投手の話スライドを見せていただきました。彼は、毎日インシュリンの注射を欠かすことは出来ないが、それさえ守っていれば、プロ野球の世界でも活躍できることを証明しているようなもので、ちゃんと病気と向かい合って生きてゆけば、怖がることは無いと言っているようでした。

その後を、後藤様が「京都に生まれるプロバスケットボールの京都ハンナリーズ」のお話をしていただきました。ちよつと弱そうな名前ですが、「はんなり」と言う京都言葉から取った名前前で、全国に試合で行った折に、京都をアピールする為にこの名前になったそうです。

糖尿病にならないためにも、バスケットのような激しい運動をしないとは言いませんが、何か運動をされるのが、長生きの秘訣ではないでしょうか。

5月のチャリティランには是非参加され、「京都ハンナリーズ」をアピールしていただくようお願いしておきました。

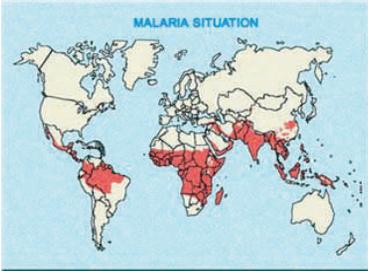
お二方のスライドを用いて、しっかりとお話しをしていただいているのに、我クラブの参加人数が少なくて、本当に残念でした。次回はもっと多くのメンバーが参加できますように！



# ワイズデー

西堀和之

3月1日午後12時30分から京都部主催の第二回ワイズデー「Roll Back Malaria」のワークショップと街頭募金」が開催されました。当クラブもマラリア感染予防パッケージの購入のため昨年来例会で献金をお願いし34パッケージ購入できる30,600円を集め西日本区に捧げたことは皆様もご承知の通り。ワークショップはマラリアについての知識を深めるために大阪大学微生物科学研究所付属難治感染症対策研究センター長および感染症国際研究センター長でマラリア研究では世界的に著名な堀井俊宏教授の講演。その後、マラリア撲滅のための街頭募金。このワークショップには当クラブから廣井会長始め5名と昨日来京都に滞在中の東京サンライズクラブのメンバーが参加。が当クラブの出席者3名は東京サンライズクラブのメンバーの見送りのために中座。



はまだら蚊の分布図

講演内容の概略次の通り。マラリアは熱帯・亜熱帯地域に広く分布する感染症で、世界100ヶ国以上の国で流行。マラリアの語源はイタリア語で『悪い空気』を意味しその後イギリス人が使いだです。1880年フランスの医師ラビランにより病原体であるマラリア原虫が発見され研究が進むもワクチンに抗体を持つものが出現し根絶にいたっていない。堀井教授が開発したワクチン（SE36マラリアワクチン）がいよいよアフリカで臨床試験に入り、5年後には実用化される。マラリアには熱帯熱マラリア、三日熱マラリアなど種類あり、熱帯熱マラリアは熱帯地方特有のもので、その他は温帯地方でも存在する。三日熱マラリアはマラリア原虫が人体内の肝臓で冬眠することとができるので三日熱が出て三日間は収まるという症状を示す。人類と進化とともに共生してきた感染症でBC2700年に中国の医学書にその症状が記載されている。日本では1959年を最後にマラリアの発症はなくなるが、海外旅行をした人が年間100人程度発症していると報告されている。症状は貧血や発熱、ひきつけ、脾臓機能の低下を起し悪性の場合には意識障害や腎不全などを起し死亡する。全世界で年間3.5億人が罹患し100万〜150万人が死亡している。

感染経路は単細胞のマラリア原虫を持つハマダラ蚊に吸血されるときにマラリア原虫が体内に入り赤血球の中で10の10乗という速さで増殖し、2週間で発症。感染予防策は、蚊に刺されないようにすること。そのため、蚊帳の使用が効果を発揮し日本からも年間60億円相当額の蚊帳が流行地域に無償援助されているが、魚を取る網としてまた洋服や飾り物などに利用することもあるため目的にかなった使用がされていないのが実状のよし。アフリカなどマラリアの流行している地域への旅行の際は、現地で最高の設備を誇るホテルに宿泊し、夕刻6時以降に着用する服は極力肌の露出を防ぐ長袖、長ズボン、靴下、靴を履き防虫スプレーを施せばまず蚊に刺されることがないとの事。予防接種の方法もあるというが、副作用が強いのであまり勧めないとも発言があった。堀井教授はマラリアのみならず、ネガティブディジェイズといわれるものは経済的貧困地域に多く流行しているため、関係各国が衛生行政と国民の衛生教育を徹底すればこの種感染症は必ず撲滅することができるかと力説されていた。以上が概要であるがワイズメンズクラブが世界を挙げてHIVやRoll Back Malariaに関心をもち、その撲滅に取り組んでいることは大変意義がある運動であるとマラリア撲滅に取り組む研究者として感謝されていた。



はまだら蚊の媒体によってマラリアは拡大する。

## 交流例会



我々、ワイズメンとして活動のメリットの一つに「全国的、国際的な交流に参加し見聞を広められる」機会を与えられています。ワイズソングの二番に「歌えば心ひとつに友が来、広がり行きて、遠きも近きも皆、捧げて、立つやワイズメン、」と続きますが、まさに、その瞬間を実感致しました。例会では、互いの今までの活動内容の紹介を含めて互いの様子を知る事が出来ました。その後の懇親会では、ここは流石ワイズメンと思いましたが、初対面の方々も多かったにも関わらず、皆が前から顔見知りと思われるぐらいのコミュニケーションでした。

4月25日のDBC締結に先駆けて、東京サンライズからメンバー7名がご遠方より駆けつけて頂き特別例会を催す事が出来ました。

古川安雄



普段、所属クラブの行事や活動のみに専念していると、大海を知らないまま（それが、良くないとは思いませんが）ワイズ歴が長くなればなるほど企画力も活動内容も偏りがちになりかねないかもしれません。特に、西日本区と東日本区に統括されて久しいことから、東京サンライズクラブとのDBC締結は有意義だと思います。今回の特別例会でも、プリンスメンバーの皆様も感じておられた方も多いいと思います。新しいメンバーも増えて、新たにDBCも締結して、クラブ内に何か新しい風が吹き込んできている、何か新しい空気がクラブ内に生まれつつある。

鈍感な方は別にして、感性豊かな私共プリンスクラブのメンバーは多分全員が、今回のDBC締結を切っ掛けに、より存在感のあるプリンスクラブを創造する事も含めて、これからの大きな舵取りを丸と成ってやり貫きたいですね。もっとワイズライフを楽しみながら、多くの友人を作りながら、多くの人たちと出会いながら、教養を身につけながら無理せず楽しみましょう。

# DBC

## サンライズへ訪問例会

小野敏明



4月25日にDBC締結予定の東京サンライズクラブのお散歩例会に8名にて訪問。PM12:00、JR日暮利駅に両クラブのメンバーが揃ったところでお散歩例会開始。この時点で、プリンスクラブのメンバーとサンライズのメンバーの【お散歩】に対する意気込みの違いが服装で判別できた。まずは手始めに谷中銀座を散策。名物のコロッケ片手にワイワイガヤガヤ。この時点では問題なくメンバーの笑い声が谷中に響く。会話も弾み、非常に楽しいひととき。先月に当クラブの例会を訪問して頂いているので、あつという間に打ち解ける。引き続き上野方面を散策。東京下町の風情を楽しみながらの約1時間程度の散策。酒造跡、明治天皇の御陵、東京芸大など文化的な施設をめぐる。

しかし、このあたりから我がプリンスクラブのメンバーに異変がおこる。徐々に笑顔が消え、会話が少なくなっているではないか！お散歩慣れしているサンライズのメンバー。会話は弾み、どこまでも歩ける様子。しかし、当方プリンスのメンバーは息も絶え絶え、足元もおぼつかない。次の目的地である御茶ノ水で休憩を要求。茶屋で甘酒を注入しなんとか持ち応えた。締めは、サンライズのメンバーが営むBARでの懇親会。両クラブのベクトルを来月5日の締結式に向けてひとつに纏める。DBCの締結はメンバー増にも似ている。互いに切磋琢磨し、よりよい活動に繋がればと思う。情けない思いもしたが、東京の下町をじっくりと散策する機会は非常に楽しかったお散歩例会。次回はぜひ、足腰を鍛え上げた強靱なプリンスのメンバーによる【京都版お散歩例会】を企画予定しましょう。



## 2008年度 YMCAリーダー卒業祝会



### 岡西博司

3月8日(日)今年もこの日がやってきた。  
 僕は、今回この会に出席しているのかな。かれこれ10回くらいかな？  
 毎年、心に残る言葉を我々に残していつてくれる。  
 1年生で入ってきた子が、4年間のリーダーとしての体験が、この卒業の時に喋る言葉に、とっても重いものを感じる事がたびたびある。  
 本当に成長したんだなー、と感じる。これは僕一人ではない。この会に参加した人は、みなそう思うだろう。  
 今年もいつものように、礼拝から始まった。今年の奨励は、日本聖公会司祭の大江牧師。とっても素晴らしい話であった。「人にしても素晴らしいと思うことは何でも、あなた方も人にしなさい。」簡単な様ではあるが、なかなか難しいことかも。今から旅発とうとする彼らにとって、人生の指針となるようなお話で、こちらの方が感動してしまいました。  
 今年の卒業リーダーは野外から11名、国際から1名でした。  
 一人づつ、この四年間で感じたことや、後輩たちに言って置きたいことを喋ってくれました。喋りつつ涙ぐむ子もいたりして、思わずこちらも貰い泣きしそうです。  
 そう、YMCAは、きつと大きな航空母艦のようなものなのでしょう。どんどんと、若い元気な若者が飛び立っていつてくれることを、心より待ち望んでいます。  
 リーダー達に一言。  
 「本当にこの四年間、ご苦労様でした。この四年間のリーダーとしての体験が、君たちのこれから人生に必ず役に立つでしょう。よく頑張ってください。感謝します。いつまでも、Yのこと忘れず、又、戻ってきてくれることを待ち望んでいます。」

## 京都YMCA国際福祉専門学校卒業式に出席して

### 廣井武司

2009年3月19日(水)午前10時より同支社新島会館で厳粛な雰囲気の中で卒業式が執り行われ、介護福祉学科17名、社会福祉学科6名の人々が社会へ巣立った。全員就職先も決定しているとのことで、卒業された人々の未来にその夢や希望がかなうように願いました。

ワイズとしてこの学校への関わりはバザー(学園祭)の時ぐらいしかない現実、来賓として前に席を頂き、紹介を受けるときは、なにが心が痛むところでした。

聞くとところによると学生数の減少もあり、現在大変な努力をされているとのことで、私たちワイズメンズクラブも何かもう少し積極的な関係を持つ道を考えてみてはと感じた卒業式でした。

平日ということもあり、ご案内いただいたワイズ3クラブからの出席は私一人でしたが、YMCAらしい身も心も引き締まる卒業式を久しぶりに体験して、すがすがしい一日が過ぎました。

# 京都YMCAからのお知らせ

京都YMCAも、4月の新年度に入り野外活動、ユーススポーツ、スイミングスクールならびに英会話などの活動をはじめとして、幼児・小学生そして中/高校生が継続生とともに、開校式、説明会を経てたくさんの新規の会員/生徒が参加されます。

専門学校の介護福祉科では高校をこの春卒業して入学される方だけでなく社会人の方々もあらためて勉学に励むべく入学されます。また、日本語科では中国や韓国、台湾といった外国から日本語を学ぶために日本に来られ、たくさんの方が入学されます。

勿論、今春もたくさんの野外活動、国際、発達障害児のサポートプログラムといったボランティアリーダーも新たに育まれようとしています。

それぞれの分野において、京都YMCAのスタッフが、新しい体制を整え準備しつつ、研修や授業、指導法・対象理解をはじめとした各基礎分野、更には各専門科目の内容について精査し修練を重ねています。これはまさに、YMCAの使命である「共に生きる」社会の構築に繋がるものであります。

また、YMCAが取組んでいます各活動・各事業を通して、すべての人が「思いやり」「誠実さ」「責任感」「他者を認める」生き方を学び、自分自身が変えられる、つまり教化されるプロセスそのものでもあります。

この新しい年度におきましても、これら京都YMCAすべての事業・プログラムが、実り豊かなものとなりますよう、ご支援のほどよろしくおねがいします。

## 1. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申し上げます。

おかげさまで今年も12名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。

いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきます。ありがとうございました。

## 2. 奉仕活動基金のご協力をお願い

奉仕活動基金は地域における奉仕活動、障がいを持つ人々への援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただきます。

今年も下記のとおり行いますのでご協力くださいますようお願いいたします。

キャンペーン期間 2009年4月～6月

1口募金額 1,000円 (何口お寄せいただいても結構です。)

納入方法 京都YMCA各館受付または、郵便振替でも受け付けております。

## 3. 第5回 京都YMCA かがわ チャリティーラン 参加者・スポンサー(協賛金) 募集中!

チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。

ぜひ、ご協力をお願いいたします。

日時	5月17日(日) 午前9時～午後3時 雨天決行
場所	鴨川公園(特設コース: 北大路橋～出雲路橋 1周1.7km/北大路橋～葵橋 1週3.08km)
種目・参加費	小学生駅伝(1チーム2,000円) グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円) 一般駅伝・クォーターマソン(1名3,000円: 学生・生徒1名 1,000円) / 親子ペアラン(1チーム1,000円)

## スポンサー募集

趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口 10,000円(企業・団体)

一口 5,000円(個人)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

## 4. リトリートセンター第10回夜桜フェスタ開催

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。

ライトアップされた幻想的な八重桜の下で、様々なイベントを楽しみましょう。

とき 2009年4月19日(日) 午後4時30分～7時30分

ところ 京都YMCAリトリートセンター

集合・解散 現地

JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり事前に事務局にお申込みください。(有料)

参加費 大人(中学生以上)2,000円・小学生1,000円・幼児無料

※チケットは三条本館にて販売中

## 5. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第26回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 4月18日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

以上のお申し込み・お問い合わせは 京都YMCA電話075-231-4388

## 4月の予定

- 1日(水) 第一例会(ウエルクラブ訪問例会) 19:00～21:00 平安会館
- 15日(水) 第二例会(通常例会) 19:00～21:00 グランドプリンスホテル京都
- 19日(日) リトセン夜桜フェスタ
- 24日(金) 三役会 廣井会長宅
- 30日(木) 役員会 京都YMCA

## 5月の予定

- 6日(振替休日) ファミリー例会 9:00～18:00 JR京都駅～彦根城～黒壁スクエア
- 17日(日) YMCAチャリティーラン
- 20日(水) 第二例会(通常例会) 19:00～21:00 グランドプリンスホテル京都
- 22日(金) 三役会 廣井会長宅
- 27日(木) 役員会 京都YMCA

## 役員会報告

### 審議事項

- ファミリー例会参加費  
メネット ￥1,500  
コメント(大) ￥1,500  
以下無料

- DBCに関する東京訪問の費用  
メネットもメンと同額補助とする。

## ハッピーアニバーサリー



今月はありませんでした。

## ハッピーバースデー



- 1日村山正治君
- 18日渡邊公生
- 21日磯谷康夫君
- 24日毛利隆志君
- 28日永濱貴幸君